

平成27年度 明倫小学校 第2回学校関係者評価委員会

平成28年1月15日(金)開催

■学校関係者評価委員

榮 中	明倫小学校 P T A 会長
中村 尚子	明倫小学校 P T A 副会長 (欠席)
三上 智奈美	元明倫小学校 P T A 副会長 主任児童委員
村田 明美	萩市児童クラブ指導者 萩市人権擁護委員
富川 芳人	元県 P T A 連合会会長 元明倫小学校 P T A 会長 (欠席)
岩崎 喜一郎	元明倫小学校 P T A 顧問 (欠席)
大嶋 栄	前明倫小学校 P T A 会長
石丸 智子	萩市立児童館 N P O 萩子どもセンター理事
梅地 信吾	元明倫小学校校長 元児童相談所相談員
吉賀 博史	元明倫小学校校長 退職校長会萩支部副支部長
齋藤 嘉敬	萩東中学校教務主任
荒瀬 龍治	萩西中学校生徒指導主任 (欠席)
河名 哲雄	萩幼稚園園長
椿 義憲	明倫小学校 校長
矢野 憲文	明倫小学校 教頭
中谷 仁美	明倫小学校 教頭

■本年度の重点目標について

特色ある学校づくり	松陰教学の推進・積極的な分かりやすい情報発信
学力の向上	授業改善・家庭学習の充実
心の教育の充実	明倫小 A B C の充実と発展 (7mのあいさつ・無言清掃・目標挑戦)
安心・安全な環境づくり	教育相談や生徒指導の組織的関わり・落ち着いた学校生活

■学校関係者評価委員会での主な意見

○ 特色ある学校づくりについて

- ・他校にない取組であり、本校の伝統として継続して行ってほしい。
- ・教職員が指導を工夫し、実践化しているところがよい。
- ・学校日より等には、児童の成長やよかったところを掲載するとよいのではないか。

○ 学力の向上について

- ・学校としては様々な工夫をして取り組んでいる。一方、保護者の家庭学習に対する意識に差があることが課題である。保護者へしっかり周知していく必要がある。
- ・学校・家庭・地域が協力して児童の学力を向上させるための方策を探っていく必要がある。
- ・授業参観するたび、めあてを提示したり、児童同士のかかわり合いのある授業が展開されたりしていて素晴らしい。
- ・幼保・小連携教育についての研究会である「つながる子どもの育ち大会」では、園児にも分かりやすいめあてが提示され、園児のやる気を引き出すことができたので、この取組は素晴らしいと思う。

○ 心の教育の充実について

- ・あいさつをする児童としない児童の個人差はある。
- ・大人から声をかけていくことが大切である。
- ・中学生や高校生もよくあいさつをする。地域全体の取組として定着してきているのではないか。
- ・行事のたびに目標が設定されており、児童一人ひとりのよさを引き出すものになっている。
- ・児童に負担のないペースで取り組まれているのでよい。
- ・清掃活動については、児童にしっかりと意識付けしていく取組が必要である。

○ 安心・安全な環境づくりについて

- ・組織的に動いているところがよい。
- ・いじめはあるものと認識し、その都度対応することが大切である。
- ・トラブルがあった場合、双方の言い分をしっかりと聞いて対応してほしい。
- ・校外、校内の安全に配慮した取組が行われている。

○ 業務改善

- ・学校は日中に会議を設定するのは難しい。限られた時間で業務をこなさなければならない困難な状況にある。
- ・次年度に向けての改善案を教職員でしっかり協議してほしい。